

日本基督教団 関東教区

# 関東教区通信

No.174

2024年3月10日

発行者 日本基督教団関東教区  
総会議長 熊江 秀一  
〒330-0844 さいたま市大宮区下町3-39  
事務所 電話 048-647-0862  
ファックス 048-647-0978  
郵便振替 00140-3-67727  
Eメール kantou@air.ocn.ne.jp  
URL <https://uccjkanto.holy.jp/index.htm>

## イエス・キリストならこうしました

ヨハネによる福音書 8章31～36節

栃尾教会・巻祝福教会牧師 野澤 幸宏



能登半島を震源とする大震災で幕を開けた2024年。20年前の新潟県中越地震の被災地に立つ教会に遣わされている者として、被災された方々に平安な暮らしが一日でも早く戻ることを祈ります。このたびの震災によって親しい方を亡くされた方の上に、主の豊かな

慰めがありますように。

他地区の皆さまには、新潟県もまたこのたびの震災による被災地であることを祈りに覚えていただければ幸いです。

昨年秋よりTVアニメの放送が始まった「葬送のフリーレン」(原作：山田鐘人)を興味深く視聴しています。中世欧州風の世界を舞台に、かつて魔王を倒した勇者一行の一員だったフリーレンのその後を描く物語です。フリーレンは、見た目は人間の少女ですが、1000年以上の時を生きている長命種族エルフの魔法使いです。彼女は、勇者ヒンメルが天に召された後の世界を、新たな若い仲間と共に旅をし、勇者の遺したものに改めて出会っていきます。劇中、物語の冒頭に毎回「勇者ヒンメルの死から〇〇年後」という語りが入ります。これにより、ヒンメルの存在感は死後にも関わらず物語が進むにつれて大きくなっていきます。登場人物たちは、岐路に立った時「勇者ヒンメルならこうした」という言葉を行動原理とします。損得は関係なく、困っている人を見捨てず、自分によって少しでも救われた人がいるならそれでいいと考えるのがヒンメルです。長い時を生きるが故に人間の感情に無頓着だったフリーレンは、ヒンメルの行動原理によって、人助けや次の一歩を踏み出す時に背中を押されているのです。

この姿を見て私は「あれ？ 何かに似てい

る……？」と思いました。私たちキリスト者の歩みはまさにこれだと思えるのです。西暦は、主イエスの誕生を元年としたものです。西暦で時を表わすこと自体が、主イエス・キリストの存在感を示すことなのです。また私たちは、聖餐のたびに「主の死を告げ知らせる」という制定の詞を聴きます。それは、主イエスが十字架によって、命を懸けて示してくださった愛を思い起こすことです。主イエスの犠牲によって、わたしたちは罪赦され生かされています。制定文の始めに使徒パウロが「わたしがあなたがたに伝えたことは、わたし自身、主から受けたものです」と記しているように、その命懸けの犠牲は使徒たちを通し、聖餐の恵みを通して受け継がれています。「イエス・キリストならこうした」という愛の業を教会は受け継いできたのです。聖書は「イエス・キリストなら、こういう時こうしただろう」というヒントを、現代を生きる私たちに伝えてくれるものです。それは「葬送のフリーレン」の登場人物たちが「勇者ヒンメルならこうした」とヒンメルの生前の行動に背中を押されるのと同じように、私たちの背中を押します。

主イエスの死は、彼の生き方を示します。まことの神でありながら、わたしたち人間を深く憐れみ、愛してくださったが故に、わたしたちと同じ弱く小さな人間としてこの世を生きてくださった主イエスの生き方です。己をかえりみず他に者を愛して歩み抜かれた生き方です。その生き方は、わたしたちを愛の業へと押し出します。わたしたちが迷う時「主イエスならこうした」と、愛の一步を踏み出すきっかけを与えてくれるのです。「主の死を告げ知らせる」とは主の生き方を自分の生き方としたいと願うことです。誰かに助けってもらったから、今度は自分が誰かを助けたい。愛の業はそのようにして次の世代へと受け継がれ続けていきます。



熊江議長の前で誓約する3教師

## 2023 秋季按手礼報告

教区書記 小池 正造

秋季教区按手礼が、熊江秀一議長の司式の下2023年11月25日(土)に大宮教会を会場として執り行われました。教師検定試験に合格された清水義尋教師(安行教会担任)、竹内真理教師(深谷西島教会担任)、平澤巧教師(春日部教会主任)が按手を受け、正教師として立てられました。熊江議長は、マタイによる福音書10章15節以下の十二弟子派遣の記事から、励ましの御言葉を語られました。按手礼は、竹内教師の力強い祝祷によってささげられ、その後、按手を受けられた教師から所信表明を伺いました。

なお、当日病欠であった片岡賢蔵教師(東中通教会担任)は、12月16日(土)に東中通教会を会場に、熊江秀一議長の司式の下で、按手礼が執行されました。教区執行部、新潟地区の教師が集い、片岡教師の上に手を置き、祝福をいたしました。



平澤教師

清水教師

竹内教師



片岡教師



## 按手礼を受領して ①

安行教会担任教師 清水 義尋



按手を受けて、教団の正教師として教会に仕えることができるようになったのは、私にとって大きな喜びです。私たちの主に、心から感謝申し上げます。

ここまで牧者としての道を歩むことができたのは、

主が支え導いてくださったという以外に説明ができません。私は何度も、これ以上続けることは難しいのではないかという経験をしましたが、その度に主は御言葉を与えてくださり、御霊に満たされた礼拝によって養っていただきました。主の恵みが無ければ、遙か以前に牧者としての歩みを止めていたと思います。また、主は苦難のうちにいる私に何度も助け手を与えてくださいました。それはいつも同じ主に結ばれた兄弟姉妹でありました。祈りの中で弱った私を支え励ましてくれた方々が、弱った私を強めてくれました。

このように、私は神さまと人々に愛され整えられる中で、今日まで歩んできました。ですので、按手を受けた者として、これまでの歩みを支えてくださったことへの感謝と、これからの歩みを守ってくださることへの確信をもって、ますます励んで主に仕えていきたいと願います。

深谷西島教会担任教師 竹内 真理



私は表立つような働きやリーダーのような役割を担うことを望まずに生きてきました。そもそも直接献身に導かれた時も、信徒として神様にお仕えしたいと1年半逃げ回っていたほどです。そんな私が伝道師として

仕えさせていただく中で、私自身が聖礼典を執り行う必要性を感じる出来事がいくつか起こってきました。正教師試験出願を悩む私の背中を恩師が押して下さり、試験に取り組む中でも必要な助け人が与えられ続け、扉がどんどん開くように按手礼受領へと具体的に導かれていきました。また、按手礼受領の翌日から聖餐式の司式、11月に洗礼を決心された婦人の洗礼式司式もクリスマス礼拝でさせていただきました。

主はこれまでの出来事を通して、日本基督教団正教師としての召しの確信を与えて下さいました。主が与えてくださった召しに従って、日本基督教団信仰告白を告白し、教憲教規を遵守して、イエス・キリストを<sup>かしら</sup>首とした、聖霊の充ち満ちたキリストの体なる主の教会に誠実に生涯お仕えさせていただきたいです。これからもこの弱き者のために祈りお支えさせていただきたいです。よろしく願いいたします。



## 按手礼を受領して ②

春日部教会主任担任教師 平澤 巧



このたび、按手を受け、日本基督教団の正教師として立てられたことを心より感謝いたします。主の召しと教区の諸教会の祈りに支えられ、これまでの歩みが導かれてきたことを改めて実感しております。

神学校を卒業して以来、春日部教会に補教師としてお仕えてまいりました。その歩みの中で、聖礼典を司るつかさど教師の存在が必要であるとの切実な思いを与えられました。

月毎の聖礼典、訪問先での洗礼や聖餐、それらは、補教師であった私には担うことのできない特別な業でありました。そうした経験を通して思わされたこと。それは、イエス・キリストが定めてくださった聖礼典に代々の諸教会と共に与り続けることができるのは、まず主御自身はその務めのための働き手を立ててくださるからなのだ、ということでした。そして、そのために用いていただきたいの思いを、主は私に与えてくださいました。

教区・教団に集められた諸教会と共に、主イエスの御命令に従い、伝道に励む者でありたいと願っております。信仰者を生み出し続ける教会の務めに招かれた者として、主の体なる教会を建て上げる業に、皆さまと共に邁進してゆきたいのです。

東中通教会担任教師 片岡 賢蔵



「本当に、神さまは不思議なことをなさいますね」。青年時代に信仰生活を導いてくださった牧師に、按手を受けることを報告したとき、そう返信いただきました。自分のような者が…と、これまで歩んできた道

を振り返ると、恐ろしくもあり、寂しくもあり、また、思わず笑ってしまいたくなる不思議さがあります。それでも、不確かさに顔を埋めるのではなく、牧師として立たせていただくことができるのは、ただ神の憐みによるということを嘯みしめています。

按手礼は、関東教区の新潟地区という具体的な地にある教会に仕えさせていただくことによって、この地に蒔かれた神さまの御言葉の芽吹きと出会う出発点としてあります。出発まで伝道師として仕えさせていただきました3年間は、新しい芽生えを悟るよう、備えの時として与えられていたかのように。この間、世界は、人と人とが、神なしに、つながり過ぎることの愚かさの警告を受け取りました。しかし既に、新しい時代は始まっていて、このローカルな交わりにも、神が介入なさっていることを見出すことができます。真に不思議な神さまの憐みを、皆さまと共にしたいと願っています。



# 献堂！ 神が与えて下さった大きな財産

新潟愛泉伝道所牧師 大島 庄吾



1985年3月21日(木)に新潟市駅南地区で伝道所として出発してから、新潟愛泉伝道所は幾多の試練と恵みを頂きながら今年はちょうど39年目です。そう思っていた矢先に、初代松原先生が、始められた新潟の米山集会所の開所式のプログラムが、ほんの一週間前に、娘さんより、「押入れを整理していたら、こんなプログラム」が見つかったと、教えていただきました。愛泉伝道所の献堂式の前に、発見されるなんて、これも、神の導きと言いますか、ユダの王ヨシヤの時代の大祭司ヒルキヤがまるで律法の書を見つけた如く、「私は時を超え、松原牧師のスピリット」が祈りにおいてこの会堂が建てられた思いになりました。時を超え神は、約束してくださることを必ず実現される方であり、まるで、イスラエルの荒野の40年と重なる伝道所の歩みでした。

確かに、新しく会堂を立てるといのは、不安と期待が入り混じり、信徒の不安と期待も交差していました。

また、統一教会の宗教的腐敗がニュースに流れる中での会堂建設、伝道所の人数、献金額の資金不足、どれをとっても、常識と計算では無理としか言いようもありませんでした。しかし、切羽詰まる中で、ただ一つ牧師として、神に問われたのは人に期待するのか、神に期待するのか。成功するのか、失敗をするのかという考え方ではなく、神の声を聴くということです。神は今、前進しなさい。つまり、祈りを積み重ねる祈祷会が策略より、素直に従うという信仰が、神に懸けさせたのです。後は神がやると言われたことをただ、私はお任せするだけでした。新会堂を建てることは、ある程度信仰の試みを受ける期間ではなかったかなと思っております。ひとつの祈りが、多くの人たちを動かし、奇跡を神は起こしてくださり、この会堂が建てられました。

献堂式が終わって「ほっ」としているものの、信仰的には、自分の功績や人の力に寄ったものではなく、神がすべてを導き、必要を満たして下さったという確信が与えられました。この確信は、これからの伝道所の宣教の働きに、神が伝道所に与えて下さった大きな財産だと感謝しています。



11月23日に執り行われた献堂式



教会外観

# 2023 年度日本基督教団関東教区 教師部研修会報告

教師部委員長・日立教会牧師 成田 顕靖

10月16日(月)午後、大宮教会礼拝堂を主会場にして「御国の完成の日に向かって宣教する教会」の主題で教師部研修会が行われました。Zoomを用いたハイブリッドで開催され、対面参加者は27名、リモート参加者は15名でした。

講師は日本福音キリスト教会連合東松山福音教会牧師の岡山英雄先生。米国と英国で研鑽を積まれた黙示録および終末論の専門家です。

講演は2部構成で行われ、前半は終末論の概要についての講義がなされました。「患難期後再臨説」「患難期前携挙説」「無千年王国説」に大きく分類される終末論諸説を教会史的に概観し、再臨信仰と再臨の重要性、終末の徴について話されました。後半は終末論と宣教・説教の関係についての講義がなされました。全世界に向けての宣教が

再臨への参与であることがまず指摘され、イエスの王国が苦難の王国であってキリストの苦しみに共に与り、十字架の苦難を通して復活の祝福に与ること、黙示録で述べられている「新しい天と新しい地」とは宇宙そのものが全く新しいものに変えられるのであることなどが述べられました。

内容の豊かさや深さからして、半日の研修会で終わらせてしまうには極めてもったいないものであります。短い講演時間にもかかわらず濃厚なレクチャーを下さった岡山先生に深く感謝申し上げます。

なお、岡山先生の著書である『小羊の王国』（いのちのことば社）に終末論について詳述されていますので、さらに学ばれたい方はアマゾンでご購入の上お読みください。

## 参加者の声

東大宮教会牧師 久保島 理恵

2023年10月16日(月)、大宮教会にて教師部研修会が行われました。日本福音キリスト教会連合東松山福音教会の岡山英雄牧師より、「御国の完成の日に向かって宣教する教会」と題する終末論についての講演をうかがいました。終末論は神学の重要な柱の一つですが、実際には体系的に論じられることの少ないテーマであることから、貴重な学びの機会と思い、参加しました。

講演では、まず終末論の歴史をたどりながら、3つのタイプに分けて説明がなされました。

第一の「歴史的前千年王国説、患難期後再臨説」は、1～3世紀の初代教会や黙示録の終末論で「神の国はすでに来ているが、完全には来ていない」という理解に立ちます。

第二の「無千年王国説」は、「神の国はすでに来ている」という立場で、4世紀のキリスト教公認と国教化以降、主にヨーロッパで広まりました。

第三の「ディスペンセーション主義前千年王国説」は、19～21世紀のアメリカ福音派で広まり、「教会は患難期の前に携挙する」と考えています。それぞれの特徴について歴史的な文脈を踏まえて解説して下さったおかげで、改めて知識が整理され、理解を深めることができました。また、終末のしるしに関する聖書箇所を丁寧に取り上げてくださり、一見わかりにくい終末預言や黙示録が、実は神の最終的な勝利を力強く告げていることがわかりました。

黙示文学の表現は独特で、また終末はまだ実現していない事柄ですから、それらを語ることに及び腰になりがちですが、しかし教会にとって主の勝利の希望を伝える言葉であり、福音の宣教への励ましに満ちていることを改めて認識しました。カルト問題が社会的にも大きく取り上げられるようになってきた今日、聖書の終末論は、決して恐怖による支配ではなく、主に救われた感謝と喜びの知らせであることを広く伝えていきたいと思えます。また講師の岡山先生の穏やかで謙虚な姿勢にも学ばせていただきました。

.....

### 草加教会牧師 高田 輝樹

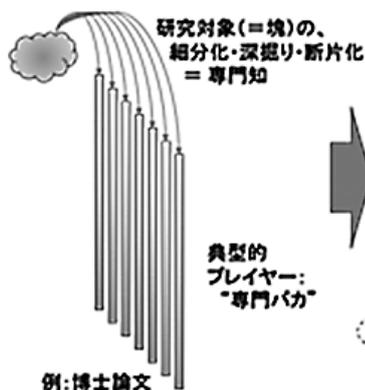
新進気鋭の学際的神学者、R.ボウカムに学んだ福音派・岡山英雄博士を講師に招聘したことが、時代を映し出す研修になった、と思う。時代は安定期に入ると、研究領域の深掘り・細分化による専門知が主流となるが、逆に転換期になると大局観に基づく学際的・横断的な総合知が力を持つようになる。

もちろん、今は後者の時代で、500年前の印刷革

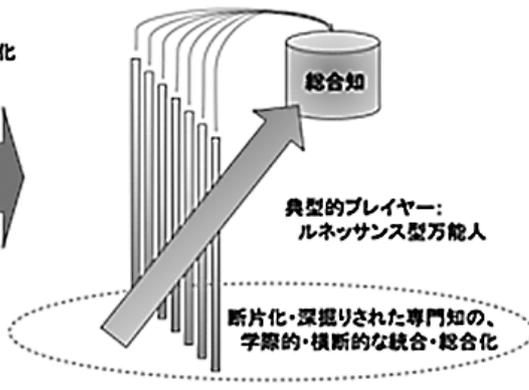
命に比肩される、いやそれを大きく上回る、デジタル化というメディア革命が光速進行中の上、更に、資本主義経済の限界効用逓減<sup>ていげん</sup>と少子高齢化が先進諸国で明白となり、社会も教会も未曾有の危機<sup>あえ</sup>への対応に喘ぎ苦しんでいる。

これまで私たち諸教会は、組合派・メソジスト・長老派などそれぞれの教派的伝統に立脚し、ときに他教派を激しく批判しながら自らの神学を深掘りする方向で学んで来た。が、今日の社会的危機を目前にしてはもうこれが通用しない。こうして福音派神学者登壇の機が熟した訳である。M.サイド『多様性の科学』の実践か。カルヴァンvs.ウエスレー、日本基督教団vs.福音派、プロテスタントvs.カトリック、文系vs.理系といった激しい二項対立の中で生きてきた私たちは、今や、何れをも包括する横断的な学びを強いられつつある。私は無類の、総合知の愛人で、半年前からホーリネス神学やJ.ウエスレーの源流<sup>たど</sup>を辿っての正教神学<sup>し</sup>に嵌まりつつあり、従前の実践神学研究に加え、清水光雄<sup>みずみつお</sup>・A.シュメーマン・T.ウェアらを愛でている。なお講師・岡山英雄は書籍を並行して2冊執筆中につき、その完成のためご加禱を願い申し上げます。

<19-20世紀、知のダイナミズム>



<21世紀、知のダイナミズム>



#### 召天者報告

- 森野善右エ門 教師 (巡回教師2017年隠退) 94歳、2023年7月31日召天
- 山田嘉三 教師 (最終任地・越生教会) 91歳、2024年1月16日召天
- 佐藤謙吉 教師 (最終任地・島村教会) 84歳、2024年2月3日召天



# 〃関東教区罪責告白、を学ぶ会 第1回報告

罪責告白小委員会長・初雁教会牧師 町田 さとみ



講師を務められた  
村田元先生（群馬町教会）

1月26日（金）午後5時から大宮教会において、学ぶ会1回目の当日を迎えました。

冷たい北風がビュービューと音を立てて吹き荒れる悪天候。その中を、講師の村田元先生がおいでになりました。長身の村田先生が肩をすばませて「風で電車が少し遅れちゃってね」と

言われながら会場にいられました。最終的には会場に12名、オンラインで15口、25教会・伝道所が参加されました。

初回のテーマは、「罪責告白の経緯と意味」です。村田先生はA4の用紙4枚の資料をご準備くださいました。以下はその資料をまとめたものです。

## 1. どうして関東教区が『日本基督教団罪責告白』をすることになったのか？

1984年、第23回日本基督教団総会の「日本基督教団と沖縄キリスト教団との合同のとらえなおしと実質化の推進に関する件」の決議に遡る。教団は「名称」等について検討する作業に取り組み、合同の実質化を制度に反映することを試みたが、議論は平行線をたどり、この決議は頓挫した状態にある。関東教区ではこの問題に取り組み、沖縄現地研修を重ねて推進を図ったが、教区全体の理解を得るには至らなかった。1996年、第30回日本基督教団総会に沖縄教区から、教団名称「日本基督教団」を「日本合同キリスト教会」へと変更する案が提案された。関東教区では、1998年、第31回関東教区総会で沖縄教区の名称変更議案が否決された場合の受け皿案として、教団総会に「日本キリスト教団に名称を変更する件」を提案したが、教団総会では受け皿案としては認めず、関東教区はこの議案を取り下げた。沖縄の痛みの分からないままに名称変更をしても、沖縄と一つにはなれない…。こうして、関東教区の日本基督教団罪責告白への取り組みが進められることになった。

## 2. 関東教区『日本基督教団罪責告白』への歩み

1962年2月25日（日）に取り交わされた「日本

基督教団と沖縄キリスト教団との合同に関する議定書」前文に、「戦争によって受けた傷について『この世の歴史においては、この傷はいまだいやされるに至っていません』『この裂け目を克服する志を表明した。これが両教団の合同である』と記されている。関東教区はこの「裂け目の克服」を重要課題として受け止め、特設委員会を設置し、日本基督教団の歴史の検証作業をし、裂け目の原因を探ることを始めた。検証の末、避け目を克服する道は、日本基督教団の成立以来の罪責を明確にし、告白することをもって出発点となることが明らかにされてきた。そこで日本基督教団罪責告白特設委員会を設置したのである。

## 3. 戦績告白と罪責告白について、

そして作成検討委員会の設置から総会可決まで1967年に表明された「教団戦争告白」（日本基督教団第2次世界大戦の戦争責任告白）に不十分と思われる〃主の前に犯した罪の告白、を謙虚に反省し、教団が真にキリストの教会として立っていくための「日本基督教団罪責告白」が作成された。9年を経て、2013年第63回関東教区総会にて提案され、可決され、2014年関東教区総会にて配布された。

・――・――・――・――・――・――・――・――・――・――

毎年8月になると関東教区から送られる「罪責告白」と「リタニー」を、告白されている教会。告白されない教会。それぞれの対応があります。以上のような経緯を経て、思いが罪責告白には込められていることを、新たに教えられる学び会。学び会はあと8回あります。今回は、3月22日（金）、「戦前・戦中の沖縄、戦後の沖縄（全2回、後半は5月24日（金）」です。皆さんも一緒に学びませんか？



# 『関東教区罪責告白、を学ぶ会』

## 第2回以降のお知らせ



8ページで報告した通り、9回シリーズで表記集会を始めました。1人でも多くの方にご参加いただきたく、今後のスケジュールおよび参加方法などをご案内いたします。

会場は大宮教会で、対面とオンライン併用のハイブリッド形式で行います。オンラインでの学びの方法は、以下のとおりです。

- ① 教区内の教会・伝道所の場合は、Zoomのアクセス ID 814 0739 5912やQRコードを右列に掲載しましたので、そこからお入りください。各教会・伝道所の教師の方々は、ご参加を希望される方にZoom配信情報をお伝えいただくか、教会・伝道所でZoomに入室し、教会に集まってご参加いただきます。
- ② 教区外の教会・伝道所よりご参加を希望される場合は、お問い合わせアドレス（初雁教会のアドレス）まで事前にご連絡をいただきましたら、Zoom配信の情報（招待メール）をお送りいたします。

関東教区のホームページから学び会の動画をご覧になれます。動画は、学ぶ会の数日後にご視聴いただけます。動画を掲載するために、数日ほどかかります。ご了承ください。

ご都合により参加できない方、あるいは見逃した方や、もう一度ご覧になりたい方などは、関東教区のホームページから視聴できます。第1回目の録画配信を関東教区ホームページで配信中です。

皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。参加費は無料です。どなたでもご参加ください。

### 【お問い合わせ】

ご不明の点など、お問い合わせは、関東教区罪責告白小委員会までお寄せください。

(委員：町田さとみ／初雁教会)

TEL&FAX：049-224-7594 Eメール：joyful1932@nifty.com



日程 原則金曜開催 *変更の場合あり	学びの内容と回数	講師
2024年3/22、5/24	戦前・戦中の沖縄、戦後の沖縄（全2回）	村田 元 先生
2024年7/26、9/27	教会弾圧への罪責（全2回）	原田彰久 先生
2024年11/29、2025年1/24	アジアへの罪責（全2回）	大友英樹 先生
2025年3/28	天皇崇拜と戦時下の日本（全1回）	熊江秀一 先生
2025年4/25	学びの自由な意見交換／今後の教区（全1回）	熊江秀一 先生

## 2023年役員研修会

財務部委員長・宇都宮教会員 相原 孝至

「見よ、兄弟が共に座っている。なんという恵み、なんという喜び…」このヒネマトーヴの讚美で2023年度の役員研修会がスタートしました。久しぶりの研修の時です。礼拝ではめったに目にすることのできない多くの方々が、同じ明確な意思の下に相見えていることに感動を覚えました。

会計事務の実例紹介は、他の教会・伝道所（以下教会）の会計実務の改善に資するのではないかという意図で提案された研修会です。11月18日（土）当日を振り返ります。参加27教会39名の兄弟姉妹が大宮教会に集い『教会会計の仕事の流れ』を学び直しました。教会の伝統、規模、会員構成、悩みなどの違いがあっても果たす目標の結果は同じ果実です。教会を建てることに参画している喜びです。

プログラムは、説教『共に福音にあずかるために』（吾妻教会 稲垣真実牧師）の開会礼拝から始まりました。続く発題は、大教会と中規模教会の会計処理事例が岡林邦子（越谷教会員）と相原孝至（筆者）により発表され、続いて新潟教会の長倉望牧師により「オンライン献金.com」の市販教会会計ソフトを設置された目的と意義の紹介がなされました。

まず礼拝ごとに献げられる献金についてですが、記帳と出納は注意深く、かつ工夫されて行われていることが伺われました。会計処理に携わる仕事分担と必要人数はそれぞれです。献金額秘匿性の確保の論議がありました。ちなみに、私の教会では、コロナ禍以前までは、礼拝当番の教会員と長老が、月定献金袋の現金と表記内容の合致確認を礼拝後に行い、最終的に会計長老が確認をしていました。しかし、苦情や疑義はありませんでした。一人ひとりが教会を支え奉仕を通して仕えていく姿勢です。開会礼拝でも奨められましたように、“日々の生活がイエス様に倣う者”、“私の喜びと救いはここに在る”となっているか改めて自覚させられました。しかし、日々の生活の中で忙しくこの喜びを忘れていくかもしれません。私たちは教会員の一人ひとりの様子にとっても敏感な最前線に

居る、恵みに感謝し、兄弟姉妹を思いやる信仰者に変えられたいと思います（Iヨハネ4：8～10）。

続いての事例は、「オンライン献金.com」の方向性でした。大きな教会が、来られない方の献金手段、献金の裾野の広がり、繋がり、感謝の可視化を利点とし、意欲的に活用されているシステムです。また、神様からいただいた宝を小さな教会を支えていく使命をもって試験的に導入されたものです。運用成果を楽しみにしております。

分団では、献金を送付される時の送金手数料は、献金者が持つのかという論議がありましたが、現況では手数料は教会経費にしている教会が多いと感じました。

その他、分団で税金や年末調整の話も出ましたが、税務署等で聞けば教えてくれますので、送られてきた資料など読まれ理解されることを望みます。パソコン（エクセル）活用の話も出ました。通信手段としてもパソコン等の活用は必須で、この設備費用や習得も顕在化している課題です。

今回の研修会は会計に焦点を当てましたが、次回に向け取り上げて欲しい課題を聞かせていただければ幸いです。大宮教会の皆さまに大変お世話になり感謝します。

最後に、将来を見据え苦悩している会計係の兄弟姉妹に心よりエールをお送りします。私たちは自己満足や自己過信に陥らず、いつも謙虚で神様に委託された奉仕者、僕として教会に仕える者でありたいと思います（ローマ12：2）。私に与えられた恵みは仲間と共に与り、それが私の信仰の成長を促し、同じ約束を受け継ぐ者となっていきます（エフェソ3：6～11）。フレーフレー小さなイエス様たち。



## 第73総会期第4回常置委員会報告

報告者 小池 正造

能登半島地震を受けて第4回臨時常任常置委員会を1月4日にリモートで開催しました。第5回常任常置委員会を1月30日、第4回常置委員会を2月13日に大宮教会において行いました。

- ・能登半島地震における新潟地区の被災状況を確認いたしました。臨時常任常置委員会では、第一報として、会堂の被災状況、教会員、教職／家族の安否を確認しました。その時点においては、大きな被害のないことが確認されましたが、その後の第4回常置委員会においては、佐渡教会、東中通教会の建物の破損、巻祝福教会をはじめとして、新潟市内地域での信徒宅の被災を確認しました。お見舞いをするのを決め、その範囲については被災支援委員会で確定することとしました。
- ・能登半島地震における中部教区への支援について、お見舞い金をお送りするのを決め、議長がお見舞いの電話をするのを決めました。なお、ボランティアについては、中部教区の動きに従うこと、献金呼びかけについては、教団社会委員会、中部教区に集約することを確認しました。
- ・議長報告で、按手礼が11月25日に大宮教会で行われたこと、感染症の事情により、12月16日に東中通教会で行われたことが報告されました。
- ・2024年度関東教区教会負担金割賦案が協議され、2023年度当初予算比2%減で計算をされた総額39,660,000円(974,000円減)の案が可決され、地区総会へ配付、教区総会に提案することとなりました。
- ・2024年度教区予算について、上記の通り教会負担金は2%減となり収入総額は、44,720,000円(前年度当初予算比854,000円減)となります。支出は、幾つかの項目での削減を図りつつも、物価高騰による交通費(・総会宿泊費)、通信費の値上げを受けて、あまり削減をすることはできませんでした。むしろ、これらを鑑み教区総会費を200,000円増、常置委員会費を50,000円増、広報費を150,000円増で組みました。支出総額は、予備費を除き49,282,000円(前年度当初予算比471,365円減)となります。
- ・2024年度教区互助に関しては、教会謝儀互助は、11教会からの申請があり、総額9,101,000円となります。常置委員会では、一教会について問安

をすることを決めました。なお、2024年度ナルドの壺献金目標額は、今年度同様の1,200万円とさせていただきます。ただ、第4回常置委員会時点では、ナルドの壺献金は、783万円と目標に遠く及んでいない状況であることが共有されました。

- ・2024年度部落解放センター献金目標額を、35万円としました。1月末時点では、22.7万円が献げられています。感謝します。
- ・第74回教区総会については、以下のことを確認しました。・仮執行順序を確認しました。今回の会場はソニックシティ小ホールとなり、開会礼拝の中で聖餐式が執り行われます。・分科会開催の要望もありましたが、協議会を行う方向で調整をしています。・昼食についてお弁当制とします。そのため、会費が昼食代を含む形となります。・諸献金の目標額を次のように提案することを決めました。教育費互助奨学金指定献金50万円、会堂・牧師館建築支援金献金100万円。・教会記録審査を地区委員会に付託する件を今年も提案いたします。
- ・2023年度補正予算案について提案がされ、新型コロナウイルス対策教会活動支援で行った教会負担金減免による、教区教会負担金額の変更が提案され、可決されました。
- ・領収書の発効について、次年度より、現金での扱いのみ発行することとなりました。
- ・地区総会への教区間安使を以下のように決めました。

新潟地区 小池正造書記

群馬地区 田中かおる副議長

栃木地区 栗原清委員

茨城地区 武田真治委員

埼玉地区 熊江秀一議長

- ・各種申請に関する件(敬称略)

### (1) 教会担任教師異動

小山教会 就 竹花牧人(担・正)

神の愛キリスト伝道所

辞 小池与之祐(主・正)

就 小池正造(代主・正)

### (2) 諸申請

益子教会 土地取得

緑野教会 宗教法人規則変更(全面変更)

レントの時、十字架の主の愛と恵みに感謝しながら、多忙な年度末・年度初めの日々を過ごしておられることと思います。2024年年明け早々に発生した能登地震により被災された方々の上に、一日も早く平安な日が与えられますように祈ります。

◎年度末の送金は、3月24日（金）までに。

2023年度決算の都合上、未送金のある教会・伝道所は、3月24日（金）ごろまでに送金をお願いいたします。どうぞ、ご協力ください。

◎書類一式を、3月初旬にお届け致します。

この時期、教区負担金割賦額案、年度報告書、教区総会関係、社保・教団年金等の多くの書類を送付しています。「送付書類・受領・提出確認表」で中身を確認した後、担当者へ回付してください。各説明書の書き方や提出期限、通数を確認の上、遅れないようにお送り下さい。なお、年度報告書は教区ホームページにフォームがあります。パソコン上で作成もでき、間違いなく作成できとても便利です。印刷後、必ずA3版に拡大して2部ずつご提出ください。

◎「自動払込希望科目確認書」提出17日締切

自動払込を希望される教会・伝道所は、締切日を厳守し確認書の提出をしてください。期日に遅れると自動払込ができません。ご注意ください。

◎2024年度 教団年金掛金互助申請書の提出

新年度、年金掛金互助を希望される教会・教師は、必ず地区決裁後、教区事務所に5月末必着でご送付ください。6月第1回常置委員会で審議し決定いたします。その後の受付はできません。

◎2023年度、教区一覧追加

- 4頁 性差別問題委員会 宣教部から委員2名  
ジョナサン・マッカー、稲益久仁子
- 13頁17 小山② 担任教師 竹花牧人 正
- 14頁18 神の愛キリスト伝道所 代 小池正造  
小池与之祐 2023.12.31 隠退 22頁56へ
- 17頁50 深谷西島 FAX 048-574-8423
- 21頁7 山田嘉三 削除 2024.1.16 召天  
31 森野善右衛門 削除 2023.7.31 召天
- 21頁39 佐藤謙吉 削除 2024.2.3 召天
- 22頁 他教区隠退5 小久保達之祐 2024.2.20 召天

編 / 集 / 後 / 記

今号は按手礼を受けられた教師の喜び、献堂の喜び、教区で持たれた研修会の豊かさ等、主が与えてくださった喜びを皆様と分かち合う恵みを感じております。また召天された教師の方々の貴い御働きに感謝し、ご遺族の

今年は、暖冬で例年のような寒さを感じるものの少ない日々でした。しかし寒暖差が大きく、体調管理に難しさを感じる冬でした。

テレビや新聞などの報道で目にされておられるかもしれませんが、マイナンバーカードを健康保険証として使用する計画を本格化する方向のようです。まだカードをお持ちでない方もおられるかもしれませんが、カードに代わる保険証も発行されるようですので、どうぞご安心ください。

◎健康保険料、介護保険料の料率が改定されます。

2024年3月分より、料率が下がります。

健康保険料 9.82% → 9.78%へ

介護保険料 1.82% → 1.60%へ

◎3月分の自動払込日は、3月22日（金）です。

3月分から社会保険料が変更になっています。改定された保険料率で、計算しなおし期日前に入金しておいてください。

◎退職時の被保険者資格喪失について

5日以内に被保険者・被扶養者分も含めて全員の保険者証を教区事務所へ返却してください。

また、就職・結婚などで扶養でなくなる場合は、資格喪失日を記して保険証を返却してください。

◎新規加入を希望される方について

新規加入手続きは、保険証が手元に届くまでに日数がかかります。加入に必要な書類がありますので、早めにお問合わせください。

◎協会けんぽ 報酬額報告書の提出について

等級決定（保険料算定）のための大事な届出書です。教会総会において決定された月額謝儀、賞与額を記してお送りください。毎年、保険者番号の記入漏れが多いです。必ず保険者証で番号を確認して記してください。

◎4月～6月分保険料は、3月分と同額です。

新年度の謝儀額に変更がある場合でも、全員、4～6月分の保険料は従前と変わりません。保険料の変更は、事前に通知をいたします。

◎被保険者生活習慣病予防健診 受診のお勧め

年1回けんぽ協会の補助を受け受診できます。各自、健診機関で予約を取ってください。自身の健康状態を知り、病気の早期発見に役立ててください。

方々に主による平安が豊かにありますように、そして能登半島地震の被災地の復興と、被災された方々に主のお癒やしと励ましがありますように心からお祈りいたします。  
(新保恵子)